瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年7月7日（金） NO. 12 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

長崎っ子の心を見つめる教育週間(その二)

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。本日は授業参観及び各学年学級育友会にご参加いただき、ありがとうございました。さて、今号では校長講話(全校道徳)の2年生の振り返りを紹介します。

○ 2年生の振り返り

・命がどれほど大切なのかを改めて実感しました。僕が赤色を選んだ理由は、赤色は元気で優しい感じがするからです。
・今日の僕の心は赤色だったと思いました。それは心が燃えているからです。
・自分の心を見つめて、これから相手の気持ちを考えて話したり、しっかり自分の考えや意見を持とうと思いました。
・今までの自分がどうだったか、考え直すことだと考えた。
・自分が考えた答えが正解で、人にはいろんな自分と違う考えを持っている人がいると感じた。人には人なりの考えがあることが分かった。
・思ったことは、心を見つめて深く自分を思うということです。感じたことは、自分を深く見つめるということです。考えたことは、人の命を奪うことは、尊い家族にも伝わるから家族の人は悲しんでしまうと考えました。
・感想は心の形など思い浮かばなかった。
・昨年もしたけど、内容を忘れていたので今の時間で思い出すことができ、心にはいろんな形、色、気持ちがあることが分かった。これを忘れずに生活していこうと思いました。
・今日の全校道徳で初めて心の形や色を考えました。僕は丸っぽくて赤っぽい方にいたけど、キラキラしているから星や色があるから黒という意見があって、そういう見方もあるんだと思いました。
・心を見つめることは昔と同じ間違いをしないようにするためだと思った。今日の話を聞いて、自分はまだ命のことを軽くみていたんじゃないかと思った。だから、改めて考え直そうと思った。
・僕は心というものはどんな形でもないし、何色と決まるものじゃないと思うし、日によって違うと思う。
・人の命を奪ってはいけないと思いました。いじめをしてはいけないと思いました。
・心を見つめるとは、自分でした悪い行動などを改めて、他人のこともしっかりと大切にすることだと思います。
・感想は、心を見つめるということは大切だと思った。
・自分の命とみんなの命を大切にしていこうと思った。
・心は、人それぞれあって、考えることも違うということが分かりました。色や形なども違っていました。
・今日知ったことを生かして、これからの生活をしていこうと思いました。
・みんなそれぞれ気持ちがあるから相手の気持ちを尊重しようと思った。

・すぐに兄弟と喧嘩するので、二人しかない兄弟だから大切にしようと思った。また、一人一人に命があることを知った。
・自分の意見を言ったり、他人の意見を聞いたりすることで、自分の考え(心)を相手に伝えて、共有し合うことで相手のことを知っていきたい。
・私は自分の心を見つめて、心は命を守っていく中でとてもたいせつな命の一部だと思いました。そして、心はすぐに色が変わったり、形が変わったりするみたいに、すぐに人の心を傷つけたり、治したりできるものだと思いました。なので、相手の心をしっかりと考え、自身の心も大切にしていきたいと思いました。
・心の形や色は明るい時や燃えている時もあるけど、いつもそうではなく傷ついたりした時などは、変わってしまうので、形や色がなるべく変わらないように接したり、楽しく過ごせるようにしたら良いと思いました。
・最近、冷たかったなと思いました。疲れているのかなと感じました。心にゆとりが持てるようにしようと思いました。
・これからの自分の行動や発言に、改めて責任を持とうと思いました。今日の話の中で、自分の心の思いや人の思いが人それぞれということが改めて分かりました。
・色や形、どんなところにあるのかなど、今まで考えたこともなかったことを考えて、みんなの意見を聞いて、どうしてそう考えたのかと理解することで、自分の考えを深めることができた。
・自分の心を見つめてみて、改めて今までの行動などを考えさせられました。4択問題では、自分と違う答えの人の意見を聞いて、そういう捉え方もできるんだと感じました。もう一度きちんと自分の心を見つめ直してこれから過ごしていこうと思いました。
・選択の中にはなかったけど、心の形はハートだと思います。理由は、人は愛されていないと感じていても、誰か一人には必ず愛されていると思うからです。この機会を得て、心について考えることができて良かったです。
・自分の心を見つめて、自分の心は相手の心にどんな形でも対応できる形だと思いました。
・人は人によって感じ方が変わっていて、とても大切なものということが分かった。自分の心を大切にしようと思った。
・自分の心を見つめてみて、心はいろんな状態で変わったりしていたのに改めて気付いて、ちゃんと自分の気持ちに寄り添っていなかったと感じました。心を見つめることの大切さを学んで人の心に寄り添って、自分も友達とも向き合えるようになれたら良いと思いました。
・心は自分の気持ちで色や形が変わることが分かった。私はすぐイラっとくるので、なるべく良い色、形にしておきたい。そして、人の心も考えられる人になりたい。
・心を見つめて、色、形などを考えたりすると、気持ちやどのくらい命が大切なのかが分かった。命には限りがあるから、自分や他の人の命を大切にしたいと思った。
・自分の「心を見つめる」ということは、最初あまり良く分からなかったが、今日の話で少し分かった。
・心の形や色はその時の状態によって変化するのではないかと考えた時、例えば怒っていて心にトゲがある場合など、その少しのトゲで自分も周りの人も傷つけたりしないように、自分の心をコントロールできるような余裕を持てるようになりたいと思いました。
・自分の思っていることや感じていることは、心と通じ合っていると思いました。自分の気持ちは心の形や色によって変わるし、とても繊細なものだと思いました。
・みんなの心は、自分と違って、色、形など一緒じゃないと思いました。そして、一人一人の命を大切にしたいです。

以上が2年生の振り返りです。生徒の思いから大人として、改めて感じたり、考えさせられることもあります。教育週間は今日までですが、今週の学びを大切にして過ごしていってほしいと願っています。
次号では3年生の振り返りを紹介します。